

# 第25回 川西市展入選目録

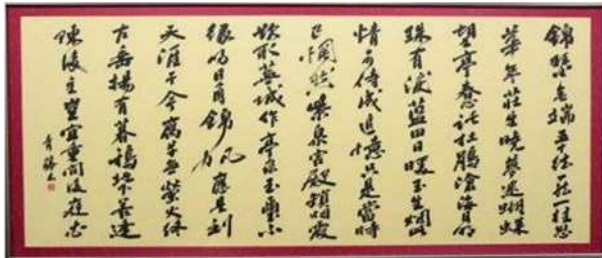
## 特別賞 青木賞

洋画の部  
「レトロな大正湯」  
中塚 昭子 (川西市)



## 特別賞 平通賞

書の部  
「錦瑟(きんしつ)」  
岩山 徳子 (川西市)



## 特別賞 川西市美術協会賞

日本画の部  
「生きる」  
田中 達也 (尼崎市)

部 門 洋画 日本画 書 彫刻・立体造形 工芸 写真 現代美術

入選作品 平成29年2月7日(火)～2月11日(土)  
展示期間 午前10時～午後5時 (最終日は午後3時まで)

会 場 川西市文化会館・中央公民館 1階、4階

主催 川西市

洋画の部

一席	レトロな大正湯	中塚 昭子
	<青木賞> 作品の写真は表紙に掲載	
二席	ドック	浦 政一
三席	オルフェウスとエウリディケ	早川 博唯
奨励賞	村の教会	淀井 多美子
奨励賞	我が街川西	山本 良彦
奨励賞	みちばた	藤田 勝弘
奨励賞	瓦屋根の夕暮れ	花井 紗代子
奨励賞	船泊り	日高 洋一
奨励賞	光射す琉璃溪	広瀬 敬三
奨励賞	時をこえて	引地 新一
奨励賞	未来への架け橋	松本 莉央
奨励賞	船溜り	松本 和子
入選	山は野いちごの頃	萬代 伸子
入選	運河(ヴェネチア)	北村 良江
入選	雅	井本 雅夫
入選	奥入瀬溪流を行く	戸田 勝
入選	新名神 塩川橋工事	森本 功
入選	陽春の浜	藤田 道枝
入選	<small>とんねる</small> 隧道を抜けると	恵村 順次
入選	民俗資料館	天野 正勝
入選	陽を浴びて	上田 順子
入選	落葉の万博公園	石田 貢
入選	静寂	玉利 公子
入選	混沌(We are)	寺下 幸世
入選	近江八幡	川端 節子
入選	陶の響	芝 司信
入選	古い井戸がある坂道 ローテンブルグにて	北中 良輝
入選	ワヤンの夢	黒部 正也
入選	オン・ザ・モール	上田 富夫
入選	たぬきのある老舗	赤尾 正武
入選	舞洲ゆり園	大槻 貞二郎

入選	風船と舞妓	城尾 一郎
入選	昼下り	高井 勝
入選	西安	塩沢 智巳
入選	街角(ニース・エズ)	岩井 早苗
入選	ゆるやかな時刻 <sup>とき</sup>	狩山 博臣
入選	製材所	大智 寛
入選	晩夏の浜風(井出ヶ浜)	小室 浩士
入選	小樽運河	市川 良子
入選	庭の舞踏会場	有田 義博
入選	舟大工の里	太田 連
入選	漁師(うに作業)	稲垣 泰造
入選	お散歩	河野 満
入選	トロッコ廃線跡(網干)	小川 睦子
入選	クメールの遺跡	稲継 佳久
入選	踏切	岡島 信博
入選	やま道を走る	中尾 昇二
入選	雨の日の晴れ間	安田 賢二
入選	風化	高須 栄一
入選	龍の住処	神谷 萌々子
入選	舞妓は～ん	車谷 孝男
入選	父	新土井 美賢
入選	お正月	上野 利雄
入選	異国の夕日	坂本 順子
入選	祇園寸景・	高畑 明夫
入選	祝い酒	野村 和男
入選	絶景の予感	森野 耀平
入選	田植の季節	鈴木 美代子
入選	能勢のご神木	宮本 光雄
入選	枕崎火の神の立神 <sup>たてがみ</sup>	山下 武二
入選	のん気な運送屋さん	いかわ あつき
入選	丸・蹴る	酒井 遥
入選	祈りの空間	百々 真二郎

(次頁に続く)

## 洋画の部 (つづき)

講評 藤本 元美・尾島 守

第25回という記念すべき回に審査ができ光栄に思います。昨年に引き続き応募点数が多く、大変喜ばしく思いました。ただ、全体的に薄く描かれた絵が多く、やや力強さが不足していたように感じられました。来年の応募に期待するところです。

一席「レトロな大正湯」は、水彩でありながら建物の重さを感じられる作品で、夕方の入光と影のコントラストが美しく表現されています。

二席「ドック」は、画面の構成が斬新で、影の色も鉄の塊の量感が、しっかりと伝わってきます。隙間から見える風景が奥行きを深くしています。

三席「オルフェウスとエウリディケ」は、画面構成が秀逸で、左右の対比が色と形で成されており、中央の壁で突き抜けた手がドラマを見ているように、見るものを引き付け、魅力あふれた作品となっています。

## 日本画の部

一席	生きる	田中 達也
	<川西市美術協会賞>	作品の写真は表紙に掲載
二席	輝く糸	山崎 一義
三席	つむじ風	砂子 久美子
奨励賞	<small>はるうらら</small> 春麗	永井 光春
奨励賞	<small>きっしょうてん</small> 吉祥天	竹澤 弘美
入選	<small>ものみ やくら</small> せり出した物見櫓(佐用町)	田中 政三
入選	刈干の情景	松本 敏子
入選	愛でる	山本 富美子
入選	川辺の桜	久保田 忠雄
入選	苔むした樹と岩	阿久根 記美子
入選	彩色の秋 味覚の柿	藤井 安雄
入選	平等院庭園	肥塚 隆正
入選	湖畔にて	那須 徳子
入選	清流(猪名川)	細見 裕
入選	巢立ちの時	堀家 弘子

入選 思い出のモンサンミッシェル(フランス) 湯川 延子

入選 早春 大森 由紀子

講評 小田 賢・曲子 明良

出品者数は昨年よりわずかに減少しましたが、各々の年齢をみると70歳以上の方が多く出品されており、感心しました。ぜひ続けてほしいと思います。

一席の「生きる」は、枯花をモチーフに構成もしっかりしており、一番目立っていた作品でした。

二席の「輝く糸」は、発想がおもしろく色もあざやかで絵作りのセンスの良さが感じられました。

三席の「つむじ風」は、数点あった水墨画の中で、とても個性的な表現で新しさを感じました。

その他の作品もそれ程差はなく、もう少し勉強されるとまだまだ良くなると思います。

## 書の部

一席	<small>きんしつ</small> 錦瑟	岩山 徳子
	<平通賞>	作品の写真は表紙に掲載
二席	<small>はるげんしょうにたいしてさんちゅうおも</small> 春滞沅湘有懷山中	森 春洸
三席	<small>あま かぐやま</small> 天の香具山	長田 恵美子
奨励賞	<small>こじじゅんれい</small> 古寺巡礼	横山 青波
奨励賞	<small>りつとうのひどうていさんしやにつどいてきくをみる るたくのうし</small> 立冬日洞庭山社集看菊 路澤農詩	高橋 香華
入選	<small>かぐやま</small> 香具山は	永田 由香
入選	とりなくこゑす	山根 香翠
入選	<small>じっきんしょう</small> 十訓抄より	門脇 里奈
入選	<small>けいめいさんせい</small> 鶏鳴三聲	川口 登美子
入選	伊豆の踊子	高橋 鮎
入選	<small>ひとくらざんしょう</small> 一庫残照	前田 都子
入選	北撰初冬	和田 京子
入選	<small>しゅんじつしゅうこにてとくげんとどうこうす</small> 春日繡湖與徳元同行	高木 暎琴
入選	夕暮れの鳥のようす	森田 寛子
入選	<small>りゅうそうげんし</small> 柳宗元詩	伊藤 倅泉

## 書の部つづき

入選	ぬばたまの	時崎 賀世子
入選	西行の歌	高田 多恵子
入選	おうげんし 王建詩	福岡 淳
入選	良寛さんと歌	中山 静子
入選	恋ダンス	武藤 葉子

### 講評 坪之内 柏舟・柳澤 鳳翔

今年度は出品数が増え、喜ばしい限りです。年々作品練度が向上し、力作が多くなってきていますので審査に苦慮しました。

一席の「錦瑟」は、行間も美しくうまくまとまった作品となっています。文字の大小、バランスも素晴らしく、中心の所は特に空間をうまくとっています。

二席の「春滞沅湘有懷山中」は、筆の動きもよく、渴筆もうまく出している。中心の所は横巾がもう少しあればより良い作品になったと思います。

三席の「天の香具山」は、仮名の差を追求した作で、それぞれの色紙ごとに個性がありバランスが良く、各々の濃淡もうまく出されています。全体の文字構成も良い作品となっています。

最後に、今年度は、作品点数も増え、三席以外の方々も力作ぞろいでありました。また来年度も一層の努力を期待しています。

## 彫刻・立体造形の部

一席	羅漢頭の男	神山 美登里
----	-------	--------



二席	また 急がず 潜 <small>くぐ</small> って おいていって	荒木 てらす
----	---	--------

三席	お宅、どちらさん？	森上 恵子
----	-----------	-------

奨励賞	不在の肖像(work ) ~ 誰でもない存在の行方 ~	貴志 在介
-----	-----------------------------	-------

入選	やまはに 山派	上野山 継二
入選	阿弥陀如来立像	岸田 正夫
入選	龍(リュウ)	立川 聡
入選	太古、王であった	宮崎 英世
入選	カタストロフ	寺坂 瑠菜
入選	鬼の酒盛り	中村 敏明

### 講評 川島 慶樹・山田 実

昨年に比べて出品点数が倍に増え、彫刻・立体造形の部も充実してきたようです。

一席の「羅漢頭の男」は、造形力の点においても優れており、羅漢の存在感が表現されています。

二席の「急がず潜くぐっておいてって」は、日本やアメリカに伝わる、お祓いやお守りをヒントに体感型(参加型)の立体造形で円形の金体ホルムにあわせて、ロープを編み込み流れのある表現となっています。

三席の「お宅どちらさん？」は日常がとても美しく切り取られた作風で主題となる人物に対する敬意と愛情が伝わる良質な作品です。

奨励賞の「不在の肖像(work ) ~ 誰でもない存在の行方 ~」は、不在の存在を表した作品で「虚」を感じさせる作品です。

今回は大きめの作品もあり、熱意を感じました。

## 工芸の部

一席	アルマジロ	福西 治作
----	-------	-------



二席	福が来た	乾 恵
----	------	-----

三席	古い乗物	則岡 道夫
----	------	-------

奨励賞	うんりゅう 雲龍	入江 聡美
-----	-------------	-------

## 工芸の部つぎ

入選	練り込み鎬文花瓶	井上 雅善
入選	心・技・体を問う！！(広目天立像)	竹村 健喜
入選	器の饗宴7	岡村 昇一
入選	ミュージシャン	奥村 和之
入選	陶額 未知へのいざない	清水 秀雄
入選	花器「飛ぶ・跳ぶ・翔ぶ」	辰己 正美
入選	手洗鉢	上杉 和代
入選	みのり	西田 眞智子
入選	草木染手織布「雪と精」	堂園 重光
入選	鏡画 杉玉「新酒あり <small>ます</small> 口」	澤山 和廣
入選	初春	吉田 由美子
入選	時の痕跡	山口 勝郎

### 講評 工藤 良健・渡辺 雅夫・北島 桂子

今年のお出品作品はとてレベルが高く審査が難しかったです。ただ、出品作品の展示におけるコンセプトをもう少し考えていただくと、もっと評価が上がるのではないのでしょうか。

一席の「アルマジロ」の、なんともいえない顔の表現がとても上手に表現されていて、体一面には印花技法、釉薬と全てがうまくマッチした作品で我が家にも一匹ほしいです。

二席の「福が来た」は、七福神、獅子舞などそれぞれの表情が豊かでとても楽しい作品です。色粘土による配色もよく考えられているバランスのよい秀作です。

三席「古い乗物」は、それぞれのレトロな乗物の雰囲気や木の色をそのまま活かしながら見事に表現されました。

奨励賞の「雲龍」は、雲の中から現れた龍の、ダイナミックな姿が眼に飛び込んできます。細やかな仕事とは正反対の力強さが際立っています。ただ、龍の色使いと違い、少し暗めの渦の中に、赤や黄などの飛び散る光線を感じさせる事が出来れば、もっと高い評価につながったと思います。次回の作品が楽しみ

## 写真の部

一席	まつり祭の子	吉田 亜佐子
----	--------	--------



二席	燃える大輪	横山 周作
----	-------	-------

三席	おたうえまつり 御田植祭	山川 照美
----	-----------------	-------

奨励賞	みんなが主役	丸山 禎子
奨励賞	命枯れても	井上 良郎
奨励賞	真冬日の舞	木下 勇
奨励賞	銀世界	太 健一
奨励賞	太陽を掴め	薄井 研司
奨励賞	火中突進	田中 孝
奨励賞	黎明 <small>れいめい</small>	砂田 まゆみ
奨励賞	京情緒	森 太一
奨励賞	望郷走りみこし	光武 仙子
奨励賞	Jewelry drop	門脇 里奈
奨励賞	寒緩む	成平 博
奨励賞	天空の夕陽	中村 敏明
奨励賞	水都	塩津 節子
奨励賞	本番準備中	加藤 昭代
奨励賞	汐干模様	野村 英勝
奨励賞	黄昏の神戸大橋	濱口 榮司

(次頁に続く)

写真の部 (つづき)

入選	水温む	増田 昌之	入選	仮面のつどい	西村 俊裕
入選	学びの窓	大田 嘉明	入選	晩秋の黒川	程野 哲平
入選	こうほう 光芒	河南 覚	入選	工場夜景	谷水 啓二
入選	みんなでダンス	池園 厚	入選	祭り	新 武男
入選	かじつ 佳日	吉原 和孝	入選	静寂	松下 八郎
入選	雨宿り	明河 喜三郎	入選	朝日射す	佐藤 千鶴子
入選	寸光走る	田中 善	入選	夜明の歌	武内 俊雄
入選	ほうまつしょうてんず 泡沫昇天図	山田 博一	入選	特別席通り	和田 國雄
入選	冬仕度	井戸 正弘	入選	穴場へ	天井 博章
入選	朝日に染まる街	松本 進	入選	卒業	中村 清子
入選	序章	前田 悦二	入選	ネモフィラの丘	桑名 弥栄
入選	ダム湖霧立つ	近藤 孝典	入選	夕空	井原 利夫
入選	ゆめ心地	親泊 行雄	入選	望郷	野瀬 隆
入選	子どもの情景	吉田 輝夫	入選	火龍の祈り	常木 良一
入選	ほのぼの	林 由喜夫	入選	スマイル	田中 利明
入選	満月の笑み	有瀬 清美	入選	黄昏時	平塚 実
入選	霧に向かって	西 鷹男	入選	ゲット	田中 富士夫
入選	晩冬	石原 勝	入選	凜として！！	藤島 政幸
入選	羽後の舞	森本 孝義	入選	貫く野心	清水 晴夫
入選	漁港休日	羽根田 幸男	入選	夕暮れ時のアートスポット	田阪 照夫
入選	早春近し	木原 直樹	入選	穂高投影	宮地 種光
入選	赤いウェーブの浜	酒井 美貴子	入選	春待つ	森崎 秀生
入選	クライマックス	三宅 美佐子	入選	けもの道	馬場 和正
入選	青い刻	鴛海 一吉	入選	出番待ち	松本 正之
入選	煌めく青春	粟飯原 誠一	入選	ケロンパの花見	辻森 寿美
入選	そら おくりもの 宇宙からの贈物	仁平 憲雄	入選	ハートなファミリー	西川 敏弘
入選	誕生	井上 隆雄	入選	幾たびの春	大橋 豊
入選	湖北の冬	岡田 秀雄	入選	傘寿のbirth day	中塚 義昭
入選	ボディーガード	竹本 賢一	入選	雨のお花見	鈴木 基光
入選	お願い笑って	仁井田 精司	入選	特等席	藤野 稔
入選	不思議な世界	西山 紀子	入選	湖北夕景	斉木 富美子
入選	晴れ日の仕度	山本 昌彦	入選	朝光	小池 祥弘
入選	凄み	石津 顕			

## 写真の部 (つづき)

講評 川口 和子・大亀 京助

応募作品167点の中は、ネイチャー・スナップ・祭り・動物・海外作品他と多種多様な力作揃いでした。審査も大変迷う程、上位を占める作品はそれぞれの個性を生かした巧みな手腕で捉えられています。

一席の「祭の子」は、子供の明るい笑顔と、愛犬と共に化粧した直後を楽しんでいる雰囲気のある作品です。光線を巧く使い、無駄のないフレーミング、子供の世界を巧く表現していて、いい空気感を感じます。

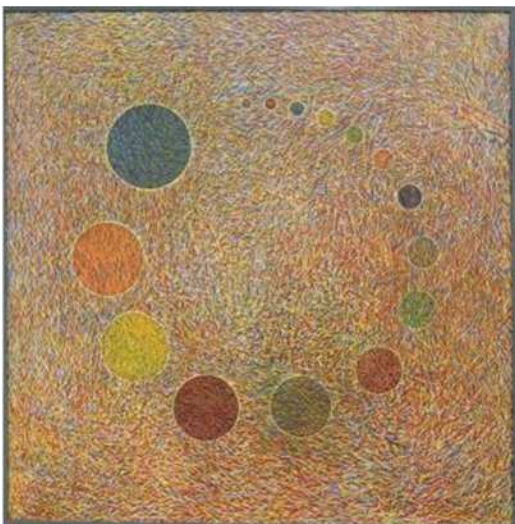
二席の「燃える大輪」は、火祭りを感度、シャッタースピード、人の配置が素晴らしく何も言うこと無く、仕上がっています。火祭りを熟知され、いい場所からクライマックスを狙われています。

三席の「御田植祭」は、泥んこの御田植祭りの男の激しさが伝わってくる力強い作品です。強調する部分は大きく手前に表現し、レンズの効果の巧さを感じます。

## 現代美術の部

一席 回転171

西川 輝彦



二席 沈降(大震災後も夜が明ける No.68) Ms & Mr シュウ

三席 遊泳

簗原 侃子

奨励賞 ジャズ・JAZZ・ジャズ

竹中 豊秋

入選 現代文明

上野山 継二

入選 よみがえり

乾 翔伍

入選 日本不満党の党首と黨員

石田 貢

入選 異なる世界

中川 美子

入選 夢のしょうへん小片

三崎 喜美子

入選 作品2017

畠山 忠美

入選 GREEN MIND

高野 暢子

入選 輝きを求めて

高阪 孝子

入選 記憶のかけら

氏家 エイ子

入選 海・未来?

鈴木 基光

入選 地

堀江 敦

講評 持田 総章・高田 雄平

現代美術の審査ということで、多種多様な作品があり楽しく拝見させていただきました。

一席の「回転171」は、細部までの作りこみと多彩な色を使用しているにもかかわらず、全体の構成がしっかりしていて、とてもバランスがとれた完成度の高い美しい作品で、吸い込まれるように鑑賞させていただきました。

二席の「沈降(大震災後も夜が明ける No.68)」は、空間の中に静かに主張する力のある作品で、三つのオブジェのバランスが良く、その空間に元から存在していたようにとけこむ作品でした。

三席の「遊泳」は、独特の世界観と繊細な空気感があり、画面に配置されているモチーフに漂っている動きがあるため、不思議と引き込まれる作品でした。

奨励賞の「ジャズ・JAZZ・ジャズ」は、にぎやかで見えて楽しい作品でした。素材の使い方がおもしろく、JAZZを奏でているのが伝わってきました。まだまだ完成度が、あがっていく可能性があり、次回作品に期待です。

各部門審査員

(順不同、敬称略)

<洋画>

藤本 元美・尾島 守

<工芸>

工藤 良健・渡辺 雅夫・北島 桂子

<日本画>

小田 賢・曲子 明良

<写真>

川口 和子・大亀 京助

<書>

坪之内 柏舟・柳澤 鳳翔

<現代美術>

持田 総章・高田 雄平

<彫刻・立体造形>

川島 慶樹・山田 実

特別賞審査員

二元会会長	山本 幸雄	川西市議会議長	久保 義孝
川西市長	大塩 民生	川西市文化協会会長	山崎 清
川西市美術協会会長	鳥居 夔	川西市市民生活部長	大屋敷 信彦

特別賞について

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘(あおき だいじょう)画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男(ひらどおり たけお)画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まわれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージーゼ レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

また、今回新たに川西市美術協会賞を設け、青木賞、平通賞と同じく一席の作品の中から選出しました。

第25回川西市展応募状況等

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	90	63	12
日 本 画	17	17	5
書	20	20	5
彫刻・立体造形	10	10	4
工 芸	16	16	4
写 真	167	84	19
現代美術	15	15	4
合 計	335	225	53